

2021年度

akta 活動報告会

&

第58回 のど自慢

We're already Living Together



おまたせしました!
リアル再始動!!



特定非営利活動法人akta

「コミュニティの中から、 コミュニティに向けて」

全ての人がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与する

特定非営利活動法人化して2022年6月1日で**10年**
来年はコミュニティセンターaktaが創設されて**20周年**

特定非営利活動法人akta

所在地

〒160-0022
東京都新宿区新宿二丁目15番13
号 第二中江ビル302号室

電話番号

03-6380-0833（木曜～日曜 15
時～21時）

FAX番号

03-6380-0575

代表者 理事長

岩橋恒太

設立

2011年6月1日

役職者

※2021年12月31日

理事（理事長）	岩橋恒太
---------	------

理事	荒木順
----	-----

理事	江島啓介
----	------

理事	柴田恵
----	-----

理事	木南拓也
----	------

監事	市川誠一
----	------

監事	長谷川博史
----	-------

受託事業一覧

- 厚生労働省同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報等一式 事業(公益財団法人エイズ予防財団受託):community center akta
- 厚生労働省 同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業 HPによる検査相談体制等情報提供:HIVマップ
- 東京都福祉保健局(公益財団法人東京都結核予防会) 東京都エイズ啓発拠点事業 : HIV検査普及、トークイベント等、HIVのリアリティの共有プログラム
- 千葉県健康福祉部:HIV検査広報
- 新宿区保健所:HIV検査広報
- 港区みなと保健所:HIV検査広報
- 多摩川病院 (多摩地域検査・相談室) : HIV検査広報

寄付をいただいた団体・個人

株式会社ViiVヘルスケア、ギリアド株式会社、団体、個人の方からもご寄付をいただきました。

普及啓発活動の状況

2 3 講師派遣

ギリアド・サイエンス株式会社、MSD株式会社、慶應義塾大学、国立保健医療科学院、東京大学、成城大学、早稲田大学、帝京大学、名古屋市立大学、杏林大学、佐久総合病院、東京女子医科大学、鳥取県人権同和対策課、InterFM、FMひがしくるめ、国立国際医療研究センター、一般社団法人知識流動システム研究所他。

外部委員会への参加

厚生労働省・公益財団法人エイズ予防財団「世界エイズデーキャンペーンテーマ検討会議」、東京都福祉保健局「世界エイズデーポスター審議会」、新宿区保健所「新宿区HIV/AIDS関係機関ネットワーク連絡会」、日本エイズ学会学会誌編集員、第35回日本エイズ学会学術集会プログラム委員、日本エイズ学会PrEP導入準備委員会

スライド 5

- 3 (声掛けはあったが休止のため削除)
→
新宿区保健所「新宿区HIV/AIDS関係機関ネットワーク連絡会」
荒木順, 2022/06/04
- 2 (追加)
早稲田大学GSセンター、成城大学
荒木順, 2022/06/04

2020年 日本のHIV/エイズの状況

新規に**1,095人**のHIV感染者・エイズ患者報告

新規陽性者のなかで、

66.9%(733人)

の人たちが
日本国籍の男性同性間の
性的接触で感染している。

新規陽性者のなかで、

35.0%(383人)

の人たちが**東京都**から
報告されている。

●東京都梅毒報告**1,579人**（内、男性が**1,125人** 推定感染経路 **MSMが28.9%**）

— 令和3年度のポイント —

センター

利用者獲得のための働き



ウェブサイト

YouTubeチャンネルの更新

YouTube
Channel



アウトリーチ

活動の可視化
上野・浅草への準備

予防行動促進

HAVE A NICE SEX ファクト
シートの作成



検査普及

aktaゆうそう検査の取り組み



1

2

3

4

5

6

7

8

community center akta

–HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

コミュニティセンター akta

東京都新宿区新宿2-15-13第2中江ビル301

開館時間：15:00 - 21:00 (月・火・水曜, 年末年始除く)

約300軒の商業施設が密集するアジア最大のゲイタウン
“新宿2丁目”でコミュニティの中から、
コミュニティに向けて普及啓発。

令和3年度「同性愛者等向けコミュニティセンターを活用した広報
等一式事業（厚生労働省委託事業）」を公益財団法人エイズ予防財
団が受託し、新宿区新宿二丁目にあるセンターの運営をaktaが行っ
ている。



期間	曜日	開館時間	備考
4月1日～24日	木～日	15:00～20:00	まん延防止等重点措置
4月25日～6月20日	金～日	15:00～19:00	緊急事態措置
6月21日～7月11日	木～日	15:00～19:00	まん延防止等重点措置
7月12日～9月30日	木～日	15:00～19:00	緊急事態宣言
10月1日～24日	木～日	15:00～20:00	リバウンド防止期間
10月25日～1月20日	木～日	15:00～21:00	基本的対策徹底期間
1月21日～3月21日	木～日	15:00～21:00	まん延防止等重点措置

※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、政府や東京都の要請により開館日時が流動的となった。

(2021年4月から2022年3月まで)

総来場者：**1,756人** (前年度比163%)

初来場者：**598人** (前年度比329%)

稼働日：**195日**

相談件数：**94件**

(2003年9月から2022年3月まで)

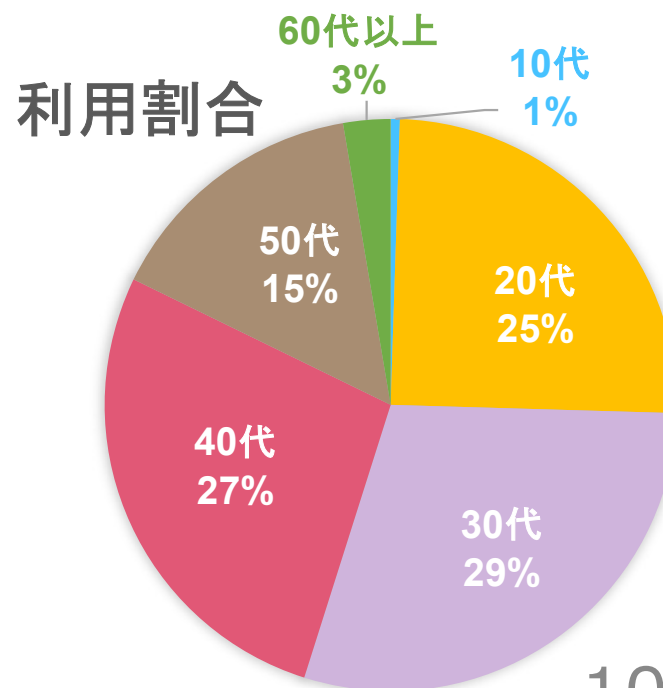
累計来場者数：**131,358人**

スタッフ：常勤4人、非常勤2人、ボランティア：132人

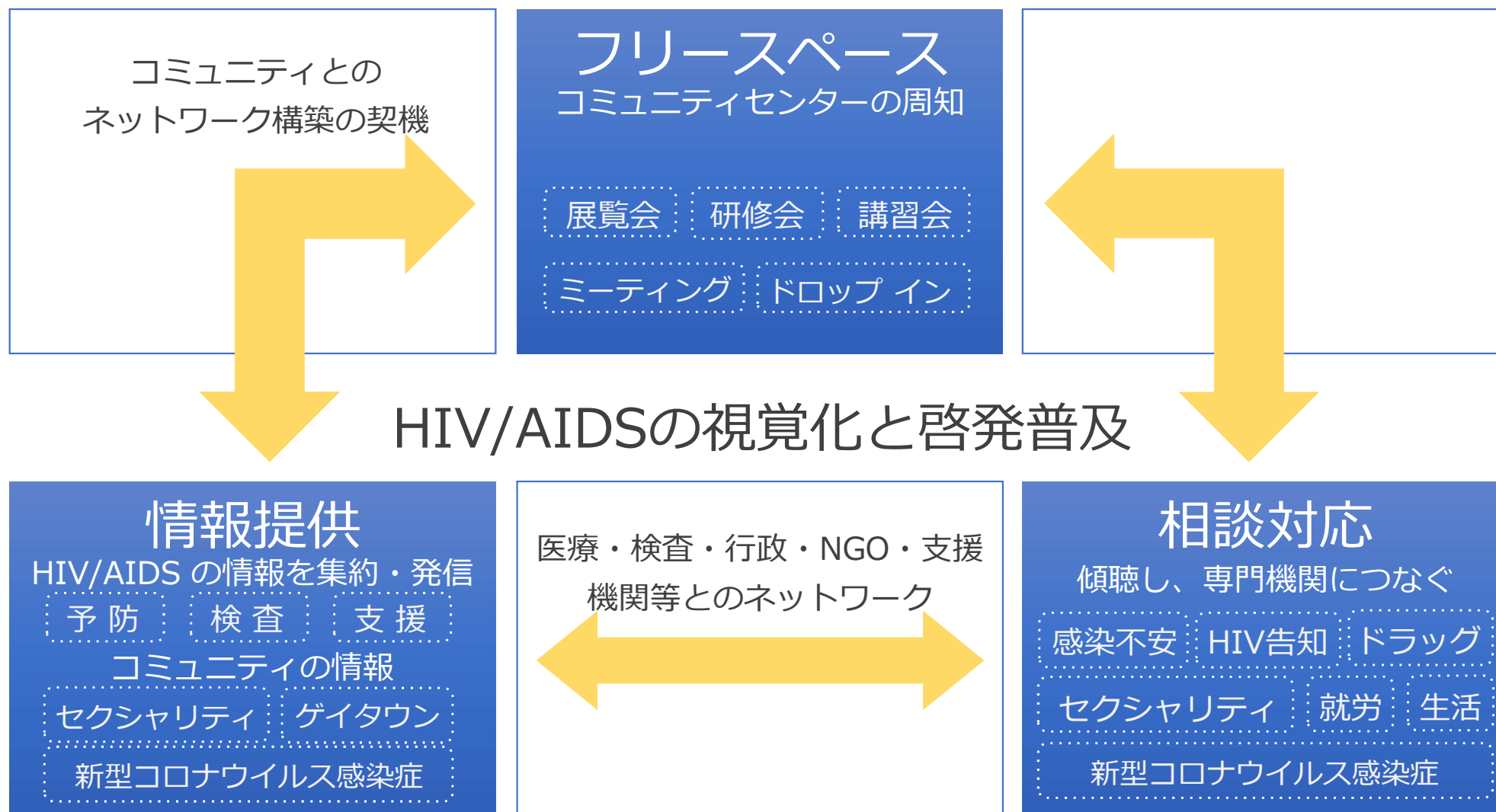


利用者の傾向

- ・昨年度に引き続き、30代、40代の利用が多かった。
- ・令和3年度では、20代の利用も同じ割合で増加傾向にあった。



コミュニティセンターの機能



MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営

新規来場者を増やして、情報にアクセスする機会を提供する
コロナの影響でイベントや展示の開催機会は減少したが、ニーズがあった



Taka Nomura イラスト展

「SHOCKING PINK
DISCRIMINATION」

4月1日(木)-4月18日(日)

来場者数：121人



S.オニクボ 写真展

「きみはだれ・whoareyou」

11月4日(木)-11月21日(日)

来場者数：104人

SIN5 EXHIBITION

「100characters」

12月4日(木)-12月26日(日)

来場者数：63人



akta YouTube CHANNEL

「サムネイル展」

2022年1月14日(木)～スタート

来場者数：104人



長谷川博史さん追悼メッセージボード展

「Say Hi! to Hiroshi

Hasegawa.beloved by Friends &
Families」

3月11日(金)-3月20日(日)

来場者数：69人



トヨタ財団デジタル報告書展

「性的マイノリティをめぐる語り
展」

3月10日(木)-3月31日(木)

来場者数：27人

- ・その他、「AAセクシャルマイノリティ・グループ」「中国語教室」等の利用があった
- ・各種見学対応（大学、行政等）としてオンラインや直接aktaへの訪問があった

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

akta café 2021

プログラムの目的：

若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。
また「aktaゆうそう検査(HIV・梅毒)」による検査イメージと、コミュニティ感覚のバランスを図る。



実施内容：

2018年より年community center aktaにて利益を目的としない営業範囲に留めcafe営業を開始。2021年度は7月～9月の第2・4日曜日15:00～18:00の夏季限定で実施。過去実施の中では相談ニーズや居場所を求める利用者が多かったことから、相談支援や居場所などの役割をもった他団体や、akta別プログラムとコラボレーションを行い、利用者にとっての相談や居場所の選択肢を増やすと共に、外部とのネットワークを構築する。

新型コロナ対策として、オンラインでも参加できる枠を用意し、akta caféスタッフや、akta非公式キャラクター「あくたくん」と話せる機会の提供を行った。

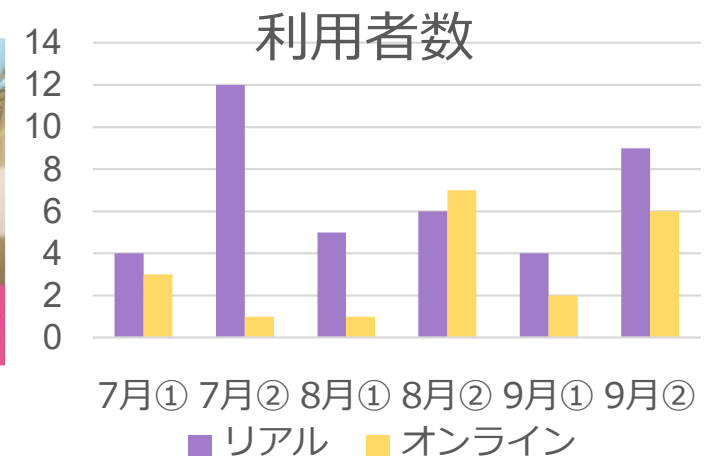


デリバリーボーイズ
コラボ

moyamoya相談会
コラボ

プライドハウス東京
コラボ

コミュニティセンタ
ーHACOコラボ



New!akta オンラインtalk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発

対象なる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ、HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTQ+

実施内容：

6月11日(日) akta Talk Show

「ワクチンで予防できる性感染症-B型肝炎ワクチンのいろは」

出演者：古賀一郎（ヴィーブヘルスケア株式会社／日本感染症学会認定指導医／日本エイズ学会認定指導医）司会：岩橋恒太(akta)、コメンテータ：木南拓也(akta)

参加者10名

※ZOOMを使用してオンライン開催

12月17日(金) akta Talk Show

「東京でのPrEPの今を知る！～相談や情報提供に役立てる・PrEPコミュニケーション」

出演者：塩尻大輔(パーソナルヘルスクリニック院長)

司会：木南拓也(akta)

参加者12名

※リアルと同時並行でZOOMを使用してオンラインでも開催

3月10日(金) akta Talk Show

「HIV検査と多地域展開」

出演者：金子典代(名古屋市立大学)／陰山さん、町さん、宮階さん(MASH大阪)／岩橋恒太(akta)

司会：藤原孝大(akta)

参加者12名

※ZOOMを使用してオンライン開催



1

2

3

4

5

6

7

8

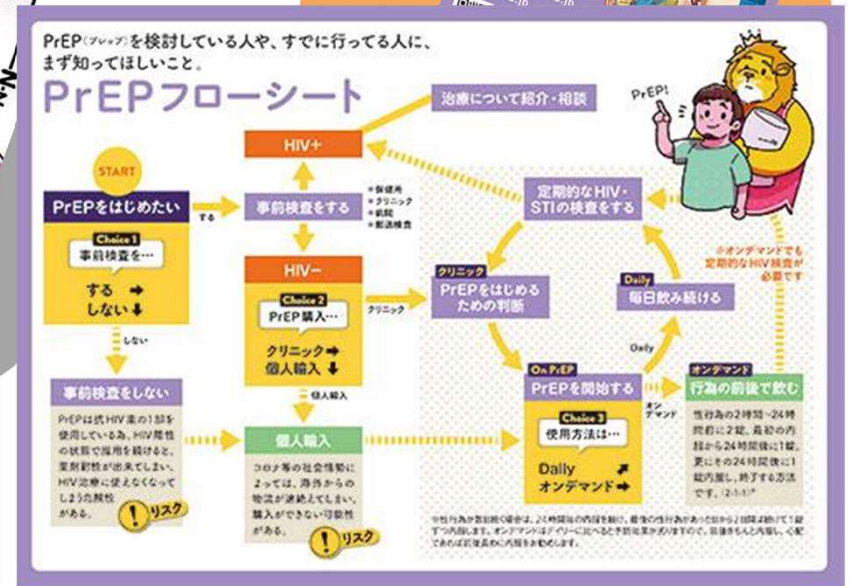
予防行動促進プログラム

HAVE A NICE SEX ファクトシートの作成



HAVE A NICE SEX に
新たな仲間が登場!!

裏面には専門
家のコラム!



情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではない性感染症の情報、HIVの新常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立てる内容とする。

「HIV/梅毒の動向」「B型肝炎」「PrEP/PEP」の3つのテーマでそれぞれ作成した。

1

2

3

4

5

6

7

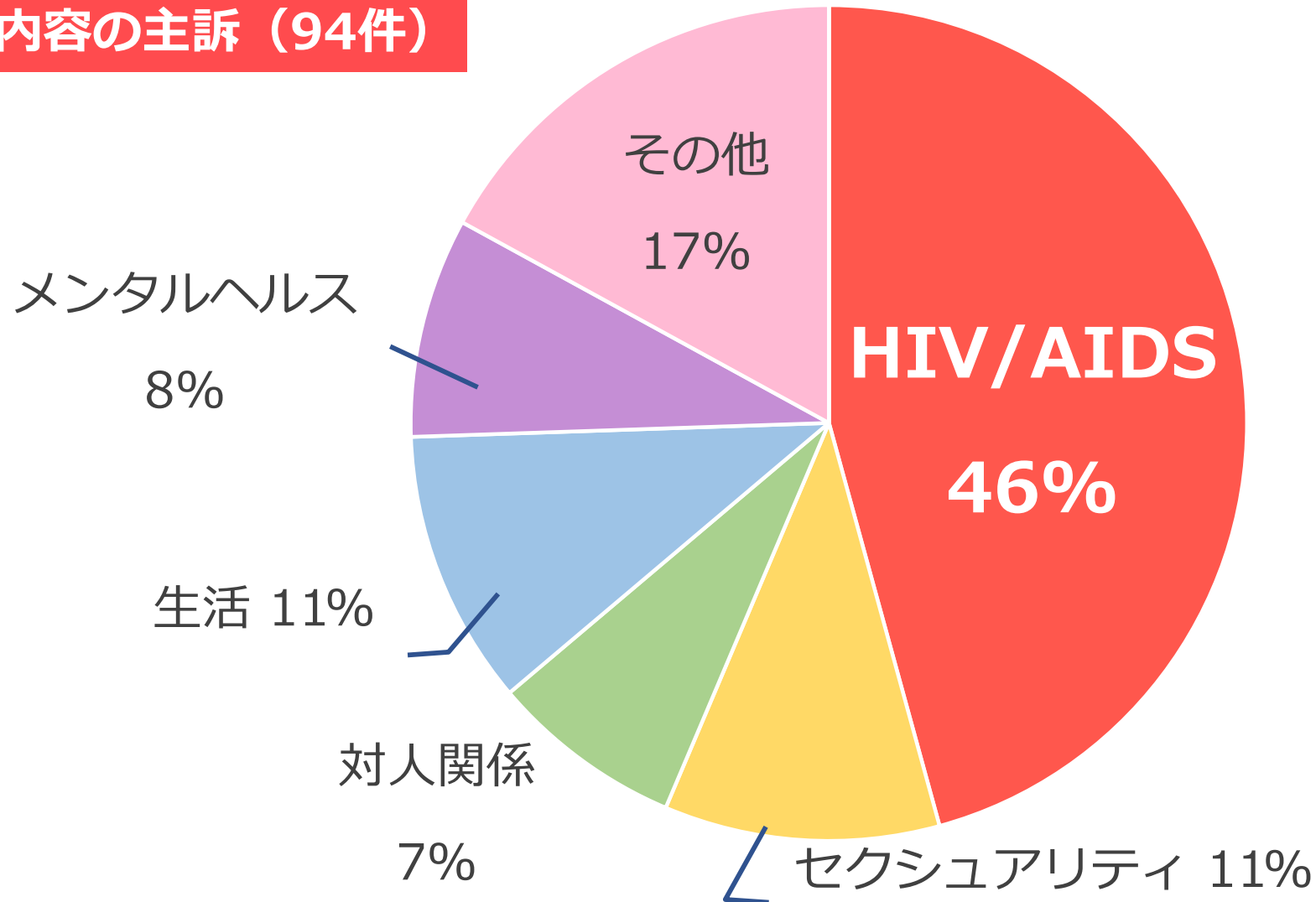
8

相談対応

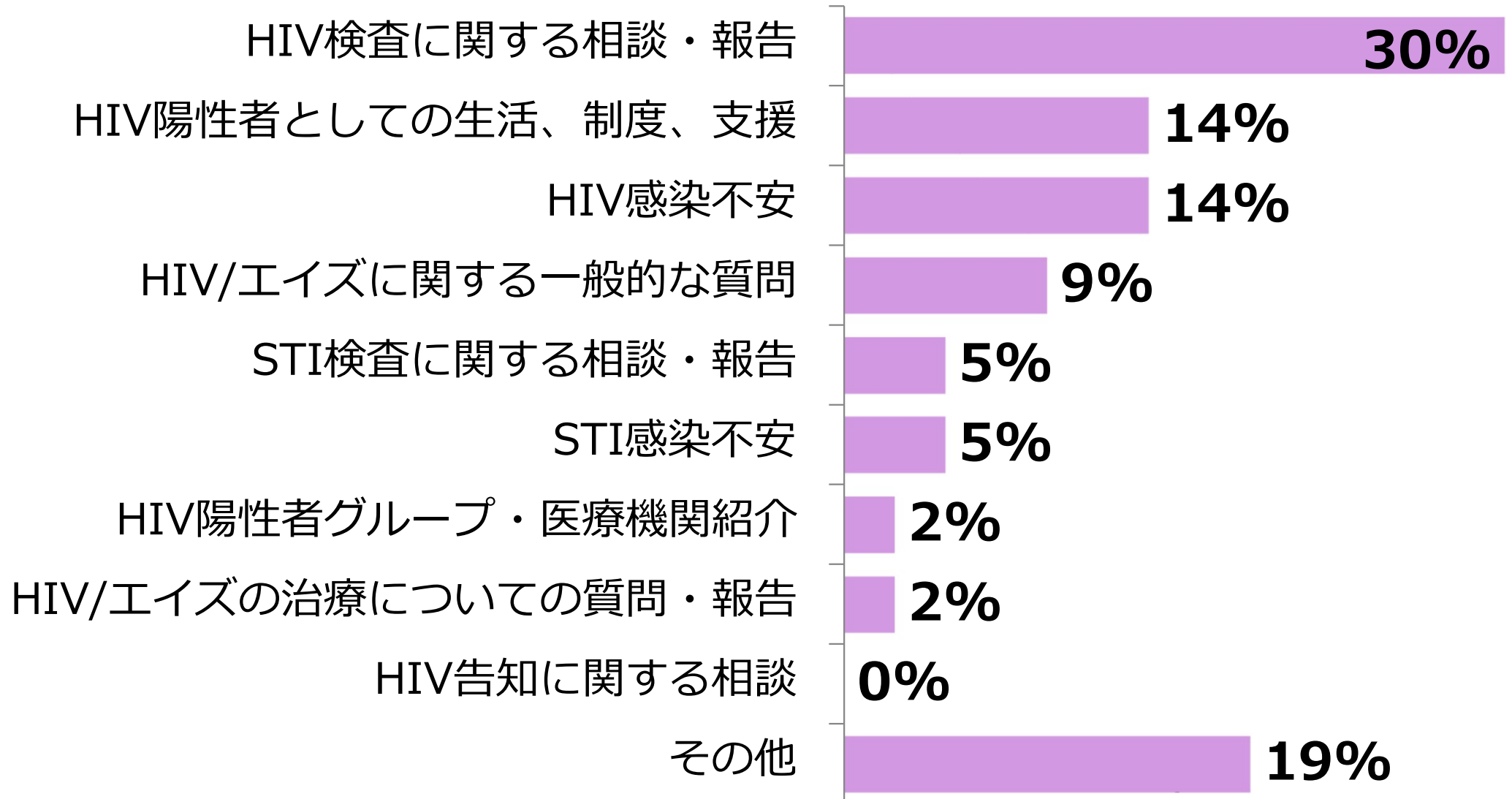
相談対応

セクシュアリティに理解のあるスタッフが
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

相談内容の主訴（94件）

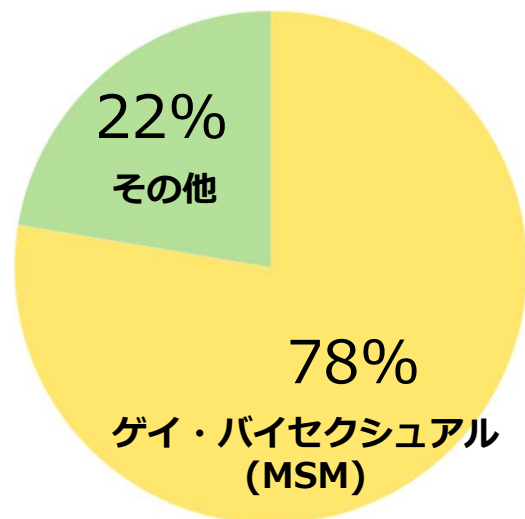


HIV/エイズに関する相談の主訴 (47件)



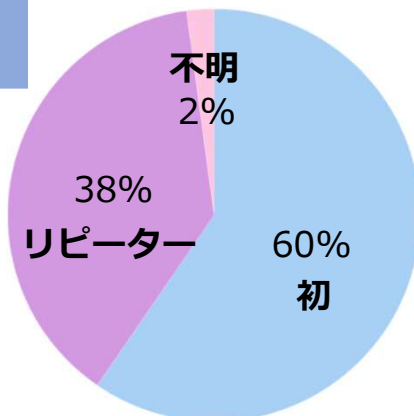
相談者の属性

セクシュアリティ



相談経験

相談件数94件
(HIV陽性者割合
12%)



居住地

東京都	28%
首都圏	18%
その他国内	17%

年齢

10歳代	28%
20歳代	22%
30歳代	20%
40歳代	26%
50歳代	14%
60歳以上	01%

スタッフ 相談対応研修会

akta相談事例を基に、3つのテーマに沿って専門家を講師として招き、研修会を実施した。スタッフの知識向上と理解を深めて、チームで対応の質の向上を図った。

①「梅毒」について

実施日：7月16日 講師：井戸田 一郎 氏（しらかば診療所 院長）

実施内容：報告数が増えている梅毒の動向～基礎情報、特徴について学んだ。後半はコミュニティベースに落とし込んだポイント解説をしていただき、啓発の参考とした。

②医療資源の使い分け～医療と保健

実施日：10月29日 講師：大木 幸子 氏（杏林大学保健学部看護学科 地域看護学研究室／元東京都保健師）

実施内容：医療と地域保健の違い～保健所の役割、相談体制について学んだ。新型コロナウイルス感染症の影響により保健所でのHIV検査が中止となる中、HIV検査へのニーズはむしろ増えている為、クリニックとの連携等、相談現場でのアウトソーシングする際の参考とした。

③薬害エイズ訴訟と支援団体について

実施日：3月4日 講師：柿沼 章子 氏（社会福祉法人はばたき福祉事業団 事務局長）

実施内容：HIV陽性者の支援団体の情報収集と、関係性の構築を目的に「薬害エイズ」をテーマに支援団体を招いて話を聞く機会を設ける。

1

2

3

4

Living Together

ー HIVのリアリティを伝えるプログラム

5

6

7

8

**WE'RE
ALREADY
LIVING
TOGETHER.**

HIVを持っている人も、
そうじゃない人も、
まだ分からない人も。
わたしたちはすでに、
いっしょに生きている。

**WE'RE ALREADY
LIVING TOGETHER.**

「Living Together」 イベントの開催

プログラムの目的：

- ・ HIVを自分の事として、身近に捉える機会を提供する
- ・ 陽性者の声を可視化して、スティグマを低減し、誰もが暮らしやすい社会へ



「Living Togetherのど自慢」を新宿二丁目を中心に開催（2006年～2020年）

HIV陽性者・周囲の人の手記リーディング + カラオケ

2021年の取り組み

- ①手記リーディングのオンライン配信とアーカイブ化
- ②陽性者・周囲の人が書いた手記集のアーカイブ化の継続

結果：

- ・ イベントへの参加経験が、HIVの会話経験や検査行動につながっている
- あらゆる地域から視聴可能なことで、より多くの様々な人に届けることができた



New! オンラインリーディング

方法：司会1名、ゲスト1名 時間：約15分 合計視聴回数：2272回（3月末まで）
収録したものを編集し、後日aktaのYouTubeチャンネルで配信
内容：ゲストがHIV陽性者やその周囲の人の手記を朗読し、感想を話す
※前年度配信アーカイブ4本（合計視聴回数：1525回）



第5回ゲスト：
かつきさん（スナック九州男ママ）



第6回ゲスト：
俣野哲朗さん（第35回日本エイズ学会学術集会・総会 学会長／国立感染症研究所エイズ研究センター長）



第7回ゲスト：
ドリアン・ロドリゲスさん
（ドラッグクイーン）

New! オンライン配信LIVEショー

11月3日（水）19時～20時

akta YouTube チャンネルで生配信！

当日の視聴数：80回／アーカイブの視聴数：955回

見逃し配信の視聴数：2010回（3月末まで）※ゲイメディアが協力

方法：司会2名、朗読ゲスト2名、LIVEゲスト1組

時間：約1時間

内容：ゲストがHIV陽性者やその周囲の人の手記を朗読し、感想を話す。LIVEパフォーマンスによるショータイム

（後日音質を上げ、ゲスト毎の3本の動画に編集し直したものを公開）



1

2

3

4

5

6

7

8

アウトリーチプログラム

DELIVERY HEALTH PROJECT

目的：定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う



516ヶ所へ届ける、516ヶ所からの情報発信

新宿2丁目

ゲイバー162店舗

毎週金曜日

(第3週を除く)

MSMが集まる商業施設に

顔と顔をあわせた定期的アウトリーチ

現在、新宿・大久保・上野・浅草・池袋・新橋・渋谷等の商業施設は
郵送で対応

ゲイバー62件／性風俗店 22件／ポルノショップ 7件

全国

MSMを取り巻く環境

毎月月末

行政機関 16件／議員5名／教育機関
19件／医療機関 51件／研究機関 7
件／保健所 54件／HIV関連NGO 20
件／セクシャリティ関連NGO 13件
／制作関係者 15件／センター8件／
メディア関連 10件／企業 12件／そ
の他 17件



上野・浅草 アウトリーチ準備



経緯

- ・ 2007年から2010年まで
アウトリーチを行っていた
- ・ その後は不定期に継続
- ・ 令和2年度までは発送で
aktaの資材を配布
- ・ 令和3年度からアウトリー
チの準備を開始
- ・ 令和4年度から定期的に
アウトリーチを再開





デリバリーボーイズ

新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブに、コンドームや性の健康に関する様々なアイディアを配達しながら、セーファースセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供するアウトリーチ活動。



実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時
登録者数：132名(内毎回5～10名前後のスタッフが参加)
配布店舗数：162店舗

コンドーム配布数

(2021年4月～2022年1月末まで)

年間13,271個 1回約500～1000個配布。

稼働日数：25日※ポスティング7回を含む

感染症対策
の徹底！



ポスティング：110/162店舗 LINE登録者数：40名

今年度作成した、コンドームパッケージ



今年度はコロナの影響でアウトリーチを中止した期間があった為、コンドームの製作数を減らした。

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、政府による緊急事態宣言の発出期間中は活動を休止した。東京都による時短申請中は活動時間を変更して行った。



デリヘルHR（ホームルーム）

実施内容

デリバリーボーイズの近況、性行動、コロナ禍における生活の変化（仕事、学業、家庭）について話し合った。また、勉強会開催前や資料完成時はそのテーマに沿った情報共有（U=UやPrEP、コロナ禍のセーフターセックス）を行い、デリバリーボーイズのニーズを把握した。

実施日：基本第3金曜日

**参加人数：3人～10人／1回
（全13回）**

活動が行えない中で、顔を合わせた場を設けることで、モチベーションの低下を防いだ。また、参加したメンバーからは近況はもちろん、セックスに関する話など、普段できない話ができたと感想もあり、話しやすい空間の提供へとつながった。

オンラインという特性を活かし、普段は参加が難しい東京以外の地域からも多く参加があり、様々な意見交換のキッカケとなった。

デリバリーボーイズ・ボランティア向け研修会

プログラムの目的：活動に参加するボランティアを対象に、HIV/エイズの基礎知識や、ワークショップ等の研修会を開催することにより、知識と意識の向上を図る。またスタッフ同士の交流や意見交換を行い、より一歩ステップアップした活動を目指す。

※新型コロナウイルス感染症の流行を受け、センターや会場にボランティアスタッフを集めての実施が困難のため、昨年より、Zoomを利用したオンライン上でのプログラムに変更。2021年度も継続してオンラインでの実施を行った。

オンライン研修会

東京都と共同開催

実施日：2021年6月11日

講師：古賀一郎氏（ViiVヘルスケア）

実施内容：「ワクチンで予防できる性感染症」について、B型肝炎を中心に、ワクチンのいろはについて学んだ。



実施日：2021年12月17日

講師：塩尻大輔氏（パーソナルヘルスクリニック院長）

実施内容：PrEPの基礎知識をはじめ、相談や情報提供に役立つ内容として、クリニックでの対応を含めコミュニケーション方法について学んだ。

実施日：2022年3月4日

講師：岩橋恒太氏（NPO法人akta理事長）

実施内容：日本エイズ学会から意見を募集されている、PrEPの診療指針・要旨案や、国内承認後の実施体制案について確認～ディスカッションを行った。

— 資材制作 —

akta monthly schedule

プログラムの目的：community center aktaの周知と、DELIVERY BOYSの配布店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するフリーペーパー。(2017年4月より配布開始、BARインタビューは2017年8月よりスタート)

紙面版 2021年4月号～2022年1月号までを発行した。
バーママのインタビューだけでなく、関係者のインタビューも試験的に開始！



インタビュー集



ウェブ版

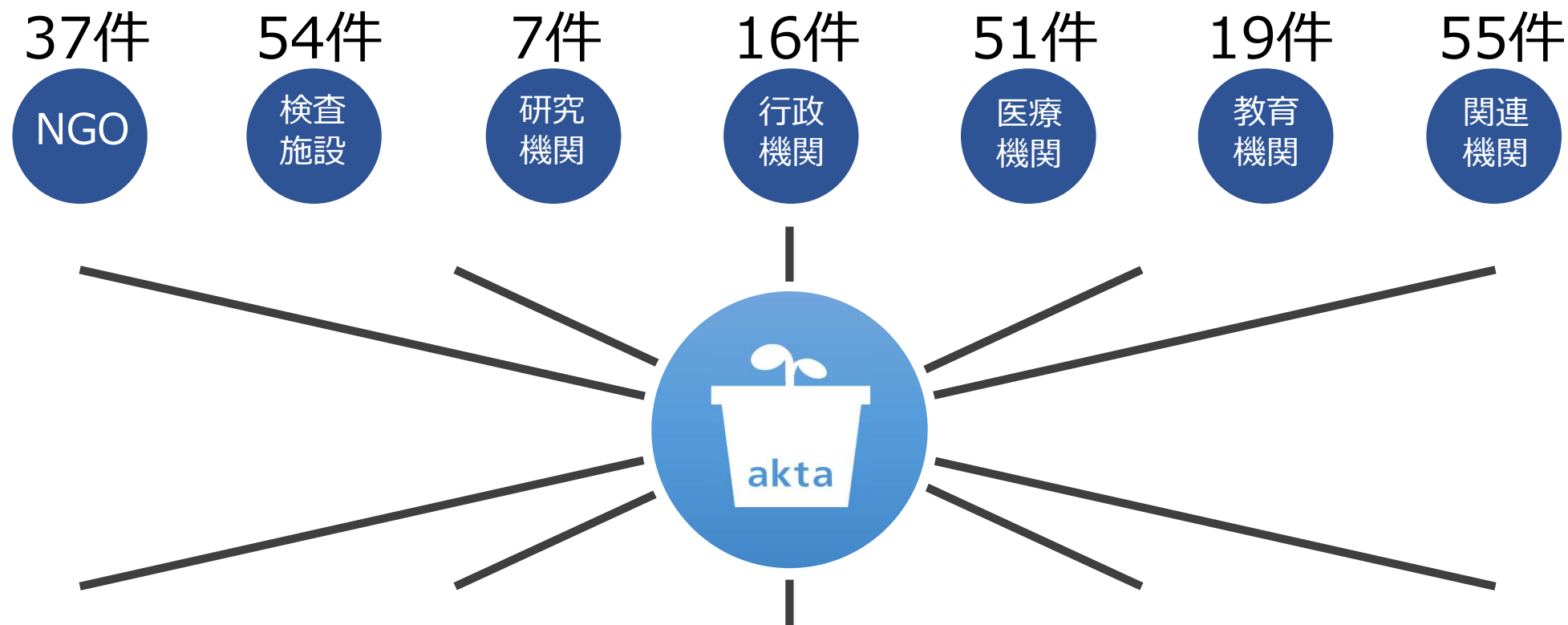
紙面版で載せきれなかった内容をウェブ版にて公開。写真も加わり、より内容を深く掘り下げられます。

発行部数：2021年4月号～2022年3月号まで各号5000部 発行、配布

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/162店舗 その他商業施設(BAR&ゲイ向け風俗店&ポルノショップ)/91店舗 保健所/54施設 クリニック14施設、行政・教育・医療・研究機関等/93施設、HIV関連NGO/20施設 その他/73施設

啓発普及の基点（連携のハブ）

HIV関連機関との連携



ゲイコミュニティとの連携

1

2

3

4

5

6

7

8

ウェブサイトを用いた啓発

akta.jp ~ウェブ上でのaktaへの入り口



コミュニティセンターaktaとそのプログラムを紹介するサイト

- community center akta
- DELIVERY BOYS
- Living Togetherのど自慢
- デリヘルくんが聞く!突撃インタビュー!!
- HAVE A NICE SEX!
- 特定非営利活動法人akta
- コロナ支援情報
- ARCHIVE
- **[NEW!]** デジタルコンテンツ紹介



aktaで作成されてきたパンフレット等を紹介し、PDF版をダウンロードできるようになっています。



HAVE A NICE SEX いまのHIV/梅毒の動向データ

2022年03月 在庫あり



HAVE A NICE SEX PrEP

PrEPを検討している人や、すでに行っている人に、まず知って欲しいこと

2022年03月 在庫あり



HAVE A NICE SEX B型肝炎

2022年03月 在庫あり



OUR DAYS 【Episode 2】

ポジティブな5人の“Living Together”日記

在庫あり



REAL

Living Together

2008年04月 在庫あり

サマリー

ユーザー 対 指標を選択

時間別 日 週 月

2021/04/01 - 2022/03/31: ● ユーザー

2020/04/01 - 2021/03/31: ● ユーザー



ユーザー

-62.08%

81,041 と 213,728



新規ユーザー

-61.71%

80,344 と 209,822



セッション

-57.92%

102,532 と 243,680



ユーザーあたりのセッション数

10.97%

1.27 と 1.14



ページビュー数

-53.56%

142,095 と 305,964



ページ/セッション

10.37%

1.39 と 1.26



平均セッション時間

46.86%

00:00:47 と 00:00:32



直帰率

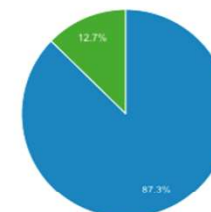
-4.67%

83.67% と 87.77%

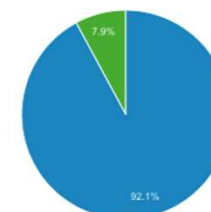


■ New Visitor ■ Returning Visitor

2021/04/01 - 2022/03/31



2020/04/01 - 2021/03/31



akta YouTube チャンネル

動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信！

2019年11月1日スタート！
2021年4月1日～2022年3月31日
視聴回数：38,219回
登録者数：658人（前年度より325人増）

参考：

2020年4月～2021年3月
→視聴回数 10,085回



主な動画コンテンツとトピック



akta大学

大学の講義形式で、トピックについてポイント解説を行う。



3分×3分

aktaスタッフが、視聴者の疑問に3分以内に回答するコーナー。



資材紹介

aktaが作成している資材等について、紹介するコーナー。

NEW!



コラボ企画

人気のゲイバーのママさん4人で構成されるYouTubeチャンネルとコラボ！この動画をキッカケに登録者数がグンと伸びた！

ー HIVマップ ー

HIVの総合情報サイト www.hiv-map.net

SP画面



HIVお役立ちナビ
予防啓発/検査/治療/
支援などを紹介するリ
ソース集

あんしんHIV検査
サーチ
首都圏MSM向け検査
情報提供

HIV/エイズガイド
HIVの基礎知識につい
て、マンガとテキスト
で紹介

H.POT
日本のHIVの基礎情報
を対日外国人に11言
語で紹介

PC画面



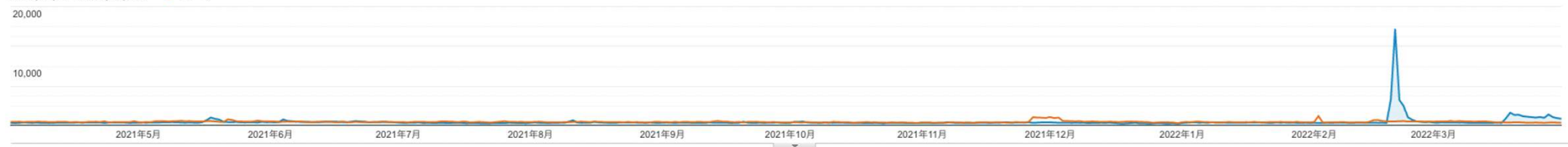
サマリー

ユーザー ▼ 対 指標を選択

時間別 日 週 月

2021/04/01 - 2022/03/31: ● ユーザー

2020/04/01 - 2021/03/31: ● ユーザー



ユーザー

-0.70%

184,581 と 185,886



新規ユーザー

-0.29%

184,556 と 185,090



セッション

-6.62%

226,747 と 242,832



ユーザーあたりのセッション数

-5.96%

1.23 と 1.31



ページビュー数

0.14%

444,715 と 444,082



ページ/セッション

7.25%

1.96 と 1.83



平均セッション時間

38.65%

00:01:31 と 00:01:05



直帰率

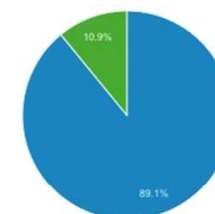
0.84%

67.84% と 67.28%

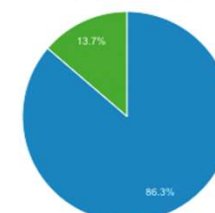


■ New Visitor ■ Returning Visitor

2021/04/01 - 2022/03/31



2020/04/01 - 2021/03/31



HIVmap POST

Chottoshita Otegami ya Chirashi

あなたのポストに届くお手紙やチラシの
ような感覚で、いま必要なHIVに関連
する情報を読みやすい形で紹介していく
コーナーです。

一口にセックスと言ってもさまざまな性行為が
あるように、性病（性感染症）の感染
「セーファーセックス」にもいろんな方法
があります。

今回は「フェラチオ」と「アナルセックス」
に関するHIV感染を具体的に上げ、セ
ーセックスについて考えます。

※当記事は2021年10月に執筆されたもの

（イラストは、HIVの治療法・予防法

新コンテンツ
はじまる！



HIV検査の新常識 8つのポイント

HIV検査ってどんなもの？ なぜ必要？ いつどこで……。新しい情報や考え方にもとづいて、もっとも大切なことをまとめました。迷ったときにはまずここをチェックしてみてください。

[HIVの基本から知りたい方はこちら](#)

2021/02/11更新



1

2

3

4

5

6

7

8

HIV検査普及プログラム

検査環境の整備と検査行動の促進

保健師（HIV検査担当者）研修会

- ・東京都福祉保健局 健康安全室感染症対策課 エイズ対策係→2021年10月4日にオンラインにて実施。

2021年度中止！

- ・千葉県、神奈川県、埼玉県の保健師（HIV検査担当者）研修会

エイズ予防財団、国立保健医療科学院等の研修に講師派遣

行政機関と連携した検査広報

東京都福祉保健局健康安全部

各保健所の個別情報→ウェブサイト紹介
都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査



みなと保健所

新橋あんしん検査



— 行政連携 —

行政機関と連携した検査広報：千葉県

プログラムの目的：ゲイ・バイセクシュアル男性があんしんして検査を受けられる環境を整備して、セクシュアリティに配慮した検査普及を行い、HIV感染の早期発見をし、エイズ発症により感染を知るケースを減少させる。

連携内容：ゲイに人気のアプリやネット媒体(9monsters、MENS NET JAPAN)にて、バナー広告を展開。セクシュアリティや地域性を考慮したイラスト、デザインでのバナー広告を展開した。

※今年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、完全予約制として4回の検査会バナー広告を行った。

実施日程と施設：

1. 令和3年8月22日(日)浦和市民プラザWAVE101
2. 令和3年10月17日(日)公津の杜コミュニティセンター
3. 令和3年11月28日(日)君津健康福祉センター
4. 令和4年1月23日(日)浦和市民プラザWAVE101

※8月と1月はコロナウイルス感染拡大の影響により検査会中止となりました。



制作物：梅毒をテーマに受験者の不安をやわらげる感染予防の情報サイトや、akta YouTubeチャンネルの梅毒を取り扱った動画を紹介する内容とし、啓発資料を作成・配布する。

- ・ 受検者が持ち帰れるA7サイズの情報カード
- ・ コンドーム



1

2

3

4

5

6

7

8

調査・研究

研究班への参加・協力

- 「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」研究代表者 塩野徳史
- 「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」研究代表者 今村顕史
- 「HIV受検勧奨のための性産業従事者や事業者等に対する効果的な介入に向けた研究」研究代表者 今村顕史
- 「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究」研究代表者 北島勉
- 「オリンピック・パラリンピック・万博等の外国人の流入を伴うイベントの開催に伴う性感染症のまん延を防ぐための介入方法の確立と国際協力に関する研究」研究代表者 田沼順子
- 「地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用予防策と支援策の研究」研究代表者 樽井正義

COVID-19のインパクトのなかでの MSMへの検査普及の取り組み

以下2021年度MSM ALL JAPANチームに参加する全国9地域にて、MSM向けHIV・梅毒郵送検査キットプロジェクト「ゆうそう検査」を前年に引き続き実施した。

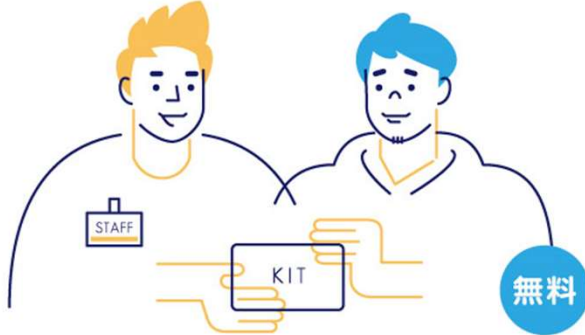
センターのある地域

東北（コミュニティセンターZEL）
東京（コミュニティセンターakta）
愛知（コミュニティセンターrise）
大阪（コミュニティセンターdista）
福岡（コミュニティセンターHACO）
沖縄（コミュニティセンターmabui）

センターの無い地域

北海道、神奈川、瀬戸内

新宿二丁目で再びスタート!
今度は梅毒も検査できる!



akta ゆうそう検査
HIV・梅毒

予約して 検査キットを受け取る 2/22, 3/1は 相談もできる

自宅で 採血する

検査会社に 郵送する

ご自宅で ロケイン

ウェブサイトで 結果確認

コミュニティセンターaktaでHIV・梅毒検査キットをお渡します。
配布日程 2/8(月), 2/15(月), 2/22(月), 3/1(月) 16:00~19:00
完全予約制(新型コロナ対策のため)
くわしくはウェブサイトへ!

akta ゆうそう検査

akta ゆうそう検査 2021



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」の研究として検査を実施

新たな取組み

- 梅毒TP抗体検査を実施
- COVID-19の流行を受け、受け取りをウェブシステムを用いた予約制、説明動画の作成で対面時間の短縮化
- 検査会社に検査を委託し、結果告知や情報提供について意見交換
- 確認検査受入機関として、行政の他、東京都内15の医療機関と連携

結果

実施日時：2021年9月25日(土)～2021年12月3日(金) 49日間
検査キット配布数：387件（月曜日予約件数121件/受取数103件）
アクセス数：PV数 23,672件(2021年9月～12月)
実施した反応：

- ・グループでの受け取りは準備性に差や、結果受け取りの意味合いに関して、課題を感じた。
- ・結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIVと梅毒で結果は別々に来るか？などの質問があった。



akta ゆうそう検査 2021 ディスペンサープロジェクト

- 英国の研究チームとの連携
- 生涯にHIV検査の受検経験がある18歳以上のMSMを対象
- デジタルディスペンサーを用いて検査キットの配布を行った。
- 操作後、ディスペンサーの使用感を確認するアンケートを実施

結果

実施日時：

2022年3月4日(金)～2022年3月27日(日) 15日間
※akta開館日（木～日）のみ配布。

検査キット配布数：73件



— 令和3年度のまとめ —

センター

コロナの影響で開館日時等も流動的となっていたが、展覧会や見学対応等を積極的に行い、来場者の獲得に努めた。

↑1.6倍



3種類追加!!

予防行動促進

今、MSMに必要なテーマを取り上げ、ヘルスリテラシー向上を応援するツールを作成した。



YouTube Channel



↑325人増 ウェブサイト

バーママやゲイコミュニティとのコラボ企画により登録者を増やし、情報発信に努めた。

**上野・浅草
新宿35軒
から広がる**

アウトリーチ

新宿だけではなく、上野・浅草地域へのアウトリーチに向けた準備を行った。



TEST ↑459件配布 検査普及

保健所のHIV検査が不安定な中、MSMへ検査機会の提供を行った。また、ディスペンサーを用いた新しい受け取り方法の試作を行い、次年度の取り組みの参考とした。